



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月3日

上場会社名 第一実業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 8059 URL <http://www.djk.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山片 康司
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 岡田 秀樹 TEL (03) 5214-8560
 四半期報告書提出予定日 平成24年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	86,437	18.3	3,200	29.7	3,557	36.2	1,627	13.7
23年3月期第3四半期	73,061	41.3	2,468	—	2,611	—	1,431	—

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 1,633百万円(48.5%) 23年3月期第3四半期 1,099百万円(-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	31.16	31.04
23年3月期第3四半期	27.43	27.41

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	74,722	24,707	32.3
23年3月期	73,322	23,777	31.8

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 24,141百万円 23年3月期 23,280百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	5.00	—	8.00	13.00
24年3月期	—	6.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	7.00	13.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	122,000	12.9	4,550	7.2	4,600	5.4	2,300	△6.0	44.01

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

24年3月期3Q	55,432,000株	23年3月期	57,432,000株
24年3月期3Q	2,986,341株	23年3月期	5,218,210株
24年3月期3Q	52,236,633株	23年3月期3Q	52,194,100株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) セグメント情報等	12
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間(平成23年4月1日～平成23年12月31日)におけるわが国経済は、東日本大震災後の復興需要や企業のサプライチェーンの復旧による生産や輸出の持ち直し等、景気回復の兆しが見られましたが、しかしながら、原発事故の影響の長期化、タイの洪水による企業活動への影響、欧州債務危機の深刻化、デフレの継続と円高の進行等、依然として先行き不透明な状況で推移しました。

このような状況の中で、アジア地域を中心としたIT・デジタル関連機器および車載関連機器の製造装置等の売上が好調に推移したほか、大手エンジニアリング会社経由の海外向け肥料プラント設備の売上もあり、当第3四半期連結累計期間の売上高は、前第3四半期連結累計期間と比べて13,376百万円増の86,437百万円(前年同期比18.3%増)となりました。また、営業利益は732百万円増の3,200百万円(前年同期比29.7%増)、経常利益は945百万円増の3,557百万円(前年同期比36.2%増)となりました。四半期純利益につきましては、上場株式に係る株式評価損の計上等があり、196百万円増の1,627百万円と前年同期に対して13.7%の増加にとどまりました。

報告セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

プラント・エネルギー事業

大手エンジニアリング会社経由の海外向け肥料プラント設備等の大口売上計上があり、売上高は3,880百万円増の18,184百万円(前年同期比27.1%増)、営業利益は46百万円増の728百万円(前年同期比6.8%増)となりました。

エレクトロニクス事業

アジア地域を中心にIT・デジタル関連機器製造会社向けの電子部品実装機等の販売が好調でありました。その結果、売上高は2,573百万円増の28,874百万円(前年同期比9.8%増)、営業利益は201百万円増の1,536百万円(前年同期比15.1%増)となりました。

産業機械事業

海外を中心に自動車関連業界向けの設備の販売が好調でありました。その結果、売上高は3,699百万円増の23,730百万円(前年同期比18.5%増)、営業利益は185百万円増の1,355百万円(前年同期比15.8%増)となりました。

海外法人

米国での電子業界向け設備および車載関連機器の製造装置等の需要の回復に加え、アジア地域におけるIT・デジタル関連機器および車載関連機器の製造装置等の販売が好調でありました。その結果、売上高は3,075百万円増の13,688百万円(前年同期比29.0%増)、営業利益は419百万円増の955百万円(前年同期比78.3%増)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ、1,400百万円増加の74,722百万円となりました。これは主に、受注の増加に伴いたな卸資産や前渡金が増加したことによるものであります。

負債合計は、469百万円増加の50,014百万円となりました。これは主に、たな卸資産や前渡金の増加に対応して短期借入金を増額したことによるものであります。

純資産合計は、930百万円増加の24,707百万円となりました。これは主に、配当金の支払いがあったものの、四半期純利益1,627百万円を計上したことによるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ、2,862百万円減少し、9,015百万円(前年同期比432百万円増)となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益2,880百万円の計上や前受金の増加があったものの、仕入債務の減少やプラント関連の前渡金の支払いなどがあったため、7,009百万円の減少(前年同期比4,819百万円減)となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、定期預金の減少があったものの、有形固定資産の取得などがあったため、20百万円の減少(前年同期比318百万円増)となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の増加などにより4,299百万円の増加(前年同期比217百万円増)となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当社グループの業績は、アジア地域を中心としたIT・デジタル関連機器や車載関連機器等の需要が引き続き好調であり、概ね予定どおりに推移しております。平成24年3月期通期の連結業績予想は、平成23年10月14日に公表した内容に変更はありません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更および過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)および「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,347	9,153
受取手形及び売掛金	38,023	38,436
商品及び製品	7,826	8,743
仕掛品	817	1,124
原材料及び貯蔵品	300	313
前渡金	4,156	6,864
繰延税金資産	480	283
その他	1,962	2,723
貸倒引当金	△69	△74
流動資産合計	65,846	67,568
固定資産		
有形固定資産	1,666	1,848
無形固定資産	98	92
投資その他の資産		
投資有価証券	4,762	4,305
その他	1,245	1,180
貸倒引当金	△296	△272
投資その他の資産合計	5,711	5,213
固定資産合計	7,476	7,154
資産合計	73,322	74,722
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	28,549	24,230
短期借入金	10,391	15,474
未払法人税等	1,456	352
前受金	6,862	8,161
引当金	653	383
その他	750	782
流動負債合計	48,665	49,385
固定負債		
長期借入金	152	38
繰延税金負債	3	1
引当金	666	309
その他	56	280
固定負債合計	879	629
負債合計	49,545	50,014

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,105	5,105
資本剰余金	3,789	3,786
利益剰余金	17,013	17,054
自己株式	△2,210	△1,264
株主資本合計	23,697	24,680
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	89	188
繰延ヘッジ損益	25	△16
為替換算調整勘定	△531	△710
その他の包括利益累計額合計	△416	△539
新株予約権	94	104
少数株主持分	401	461
純資産合計	23,777	24,707
負債純資産合計	73,322	74,722

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	73,061	86,437
売上原価	62,741	74,733
売上総利益	10,320	11,704
販売費及び一般管理費	7,851	8,503
営業利益	2,468	3,200
営業外収益		
受取利息	34	29
受取配当金	78	94
為替差益	—	96
仕入割引	185	179
持分法による投資利益	—	43
その他	40	56
営業外収益合計	338	501
営業外費用		
支払利息	46	58
為替差損	5	—
支払手数料	46	45
持分法による投資損失	32	—
その他	64	40
営業外費用合計	194	144
経常利益	2,611	3,557
特別利益		
固定資産売却益	8	1
国庫補助金	6	—
その他	3	—
特別利益合計	17	1
特別損失		
固定資産除却損	2	—
投資有価証券評価損	57	593
固定資産圧縮損	5	—
関係会社整理損	—	83
その他	1	0
特別損失合計	67	678
税金等調整前四半期純利益	2,561	2,880
法人税、住民税及び事業税	1,006	831
法人税等調整額	61	293
法人税等合計	1,067	1,124
少数株主損益調整前四半期純利益	1,493	1,755
少数株主利益	62	128
四半期純利益	1,431	1,627

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,493	1,755
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△183	99
繰延ヘッジ損益	△19	△42
為替換算調整勘定	△191	△179
持分法適用会社に対する持分相当額	0	0
その他の包括利益合計	△394	△122
四半期包括利益	1,099	1,633
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,058	1,573
少数株主に係る四半期包括利益	40	59

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,561	2,880
減価償却費	270	262
株式報酬費用	44	25
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△4	△17
引当金の増減額(△は減少)	△115	△627
受取利息及び受取配当金	△112	△124
支払利息	46	58
固定資産圧縮損	5	—
国庫補助金	△6	—
投資有価証券評価損益(△は益)	57	593
関係会社整理損	—	83
持分法による投資損益(△は益)	32	△43
売上債権の増減額(△は増加)	△2,019	△561
前渡金の増減額(△は増加)	△744	△2,875
たな卸資産の増減額(△は増加)	△5,836	△1,310
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△587	△757
仕入債務の増減額(△は減少)	2,144	△4,158
前受金の増減額(△は減少)	2,890	1,522
その他の流動負債の増減額(△は減少)	139	68
その他の固定負債の増減額(△は減少)	—	187
賃貸資産の取得による支出	△60	—
その他	△250	△327
小計	△1,544	△5,119
利息及び配当金の受取額	120	126
利息の支払額	△49	△58
法人税等の支払額	△716	△1,958
営業活動によるキャッシュ・フロー	△2,189	△7,009
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額(△は増加)	290	317
国庫補助金による収入	6	—
有形固定資産の取得による支出	△98	△331
有形固定資産の売却による収入	34	5
無形固定資産の取得による支出	△19	△20
投資有価証券の取得による支出	△275	△14
貸付けによる支出	△295	△23
貸付金の回収による収入	23	65
その他	△4	△18
投資活動によるキャッシュ・フロー	△338	△20

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	4,709	5,084
長期借入金の返済による支出	△113	△113
自己株式の取得による支出	△4	△2
自己株式の売却による収入	17	—
ストックオプションの行使による収入	—	74
配当金の支払額	△523	△734
その他	△5	△9
財務活動によるキャッシュ・フロー	4,081	4,299
現金及び現金同等物に係る換算差額	△88	△132
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,463	△2,862
現金及び現金同等物の期首残高	7,118	11,878
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,582	9,015

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連 結損益計 算書計上 額(注3)
	プラ ント・エ ネルギ ー事 業	エレ クト ロニ クス 事 業	産 業機 械 事 業	海 外法 人	計				
売上高									
外部顧客への売上高	14,304	26,301	20,031	10,612	71,249	1,811	73,061	—	73,061
セグメント間の内部 売上高又は振替高	609	1,597	2,515	3,503	8,225	1,576	9,801	△9,801	—
計	14,914	27,898	22,546	14,115	79,475	3,387	82,863	△9,801	73,061
セグメント利益	682	1,335	1,169	536	3,724	438	4,162	△1,694	2,468

注1「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、機械・器具の賃貸や保守・点検、保険代理業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△1,694百万円には、セグメント間取引消去72百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,889百万円、たな卸資産の調整額110百万円およびその他の調整額12百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連 結損益計 算書計上 額(注3)
	プラ ント・エ ネルギ ー事 業	エレ クト ロニ クス 事 業	産 業機 械 事 業	海 外法 人	計				
売上高									
外部顧客への売上高	18,184	28,874	23,730	13,688	84,478	1,959	86,437	—	86,437
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,372	1,982	2,351	5,405	11,112	1,892	13,005	△13,005	—
計	19,557	30,856	26,082	19,094	95,591	3,852	99,443	△13,005	86,437
セグメント利益	728	1,536	1,355	955	4,576	469	5,046	△1,845	3,200

注1「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、機械・器具の賃貸や保守・点検、保険代理業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△1,845百万円には、セグメント間取引消去34百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,912百万円、たな卸資産の調整額19百万円およびその他の調整額12百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成23年8月1日開催の取締役会決議に基づき、平成23年8月25日付で自己株式2,000,000株の消却を行い、自己株式は847百万円減少しました。この消却などにより、当第3四半期連結会計期間末において自己株式は1,264百万円になりました。